

佐々木敦史のドイツ生活日記



【日本人学校の行事 老人福祉施設訪問】  
ドイツの学校ということで週に1時間ドイツ語の学習がある。授業の中でドイツ語のコンテンツを考え、市内の老人施設で披露している。おじいちゃんおばあちゃんに大ウケ…までは難しいが毎年楽しみにしてくれている。中学部2年生の授業。



【日本人学校の行事 ブドウ収穫体験】  
ライン川沿いにはブドウ畑が広がる。ここはドイツワインの産地。中学部1年生の授業でワイン農家さんの協力によりブドウ収穫体験をさせてもらっている。ブドウを摘んだあとはおいしいワインを飲む…とはいかないのでブドウジュースを飲ませてくれる。



【日本人学校の行事 現地校との交流】  
中学部1年生は年に2回、現地校と交流授業のあとホームステイが行われる。これがきっかけでホームステイ後も交流が続く家庭もある。



【日本人学校の行事 市庁舎見学】  
フランクフルト市内の観光名所レーマー広場に市庁舎がある。ここで中学部3年生社会の授業として市庁舎を見学させてもらっている。フランクフルト市の歴史や課題を学習する。終了後はクリスマスマーケットも見学。生徒はこちらの方が楽しみ…？



【日本人学校の行事 百人一首大会】  
受験もひと段落する3学期後半に丸一日かけて中学部学年縦割りのチームで百人一首大会が開かれる。先生方が交代で読み手となり、先輩後輩協力しながら競う。教室に敷いた畳の香りに日本を思い出す。